

第2回検討委員会（2月5日）

・学校ごとに部活動を整理するシミュレーション

△ 人気のある同じ部活動だけが各学校に残る

||

【生徒】	選択肢の減少	地域移行で
【指導者】	指導の場の消滅	指導者の不足
【市全体】	スポーツ・文化の多様性消滅	

2

学校ごとに選択肢をできるだけ残したい

無理に
部活動を整理せず、
このままにしたら…？

3

部活動のあり方

- A 今のまま残し、自然に任せるのか
- B 各学校ごとに整理するのか
教育委員会案の
- C 拠点化して整理するのか

4

変えられない事実 1

・生徒数の減少

市全体で **14年後** に **R2** の
約 **60%以下** にまで減少

(例) 城端地域 (1学年)

80人(R2) → 34人(R16)

※**半数以下**に

5

変えられない事実 2

- ・ 文部科学省方針

部活動の **地域移行**

学校中心

地域中心

顧問 ※ブラック残業
部活動指導員
エキスパート・外部指導者



これまでは 小学校段階中心の指導

これからは小学校段階だけでなく

中学校段階も含めて指導

6

変えられない事実 3

- ・ 「南砺市立学校のあり方検討委員会」 提言
当面は

小中一貫教育の推進

8 中学校が存続

※ 保護者が望み、地域が承諾すれば、統合も検討

7

変えられない事実 4

市域が広く、

- ・ 時間
- ・ 安全性
- ・ 予算

の面で、部活動の時間に
スクールバス運行は
できない

8

部活動のあり方

A 今のまま残し、自然に任せるのか

B 各学校ごとに整理するのか

教育委員会案の

C 拠点化して整理するのか

9

A 今のまま残し、自然に任せる

- 多くの選択肢が残る
- △ チーム編成・大会出場

- △ 充実した日常活動

10

R 2

R 16

(推定)

大会等（団体戦）に
3学年でも
単独で出場できない
または
人数不足で出場

2 / 8 3 部 → 2 0 / 8 3 部
2.4% 24.1%

大会等（団体戦）に
新人チームで
単独で出場できない
または
人数不足で出場

1 1 / 8 3 部 → 4 4 / 8 3 部
13.3% 53.0%

11

A 今のまま残し、自然に任せる

○ 多くの選択肢が残る

△ チーム編成・大会出場

※ 合同チームは単発の救済措置

普段の活動と大会をつなぐ活動の充実



△ 充実した日常活動

12

A 今のまま残し、自然に任せる

△ 地域指導者の確保

- ・種目が多い
- ・母体が小さい



指導者の負担

激増

顧問**16:45まで** (サービス残業**NG**)

未経験者**60%超**

- ・質の低下
- ・競技力の低下

13

部活動のあり方

A 今のまま残し、自然に任せるのか

B 各学校ごとに整理するのか

教育委員会案の

C 拠点化して整理するのか

14

C 拠点化して整理する

子供の立場から

同じ仲間と3~9年間

○ 充実した活動

切磋琢磨 喜怒哀楽

1校での

△ 選択肢 減



多様性の担保

どうしてもやりたい生徒は、**特認就学可**

15

C 拠点化して整理する

指導者の立場から

旧町村ごとに点在する指導者 = 市の財産
協力・連携・分担



- ◎ より質の高い指導体制
- ◎ 多様な競技・活動の指導者育成

16

C 拠点化して整理する

子供にとっても、指導者にとっても

〔各学校施設
 近隣社会教育施設
 の有効活用

→ **充実した活動**

17

C 拠点化して整理する

市にとっては

全てのスポーツ・文化を

残すことができる

18

部活動のあり方

A 今のまま残し、自然に任せるのか

B 各学校ごとに整理するのか

教育委員会案の

C 拠点化して整理するのか

19